

## 予算決算委員会総務政策分科会会議録

### 招 集

令和5年3月14日（火）午前10時 議場

### 出席委員（9名）

（分科会長）岡 田 啓 介 （副分科会長）今 城 雅 子  
伊 藤 ひろえ 稲 田 清 奥 岩 浩 基 徳 田 博 文  
松 田 真 哉 森 田 悟 史 渡 辺 穰 爾

### 欠席委員（0名）

### 出席した事務局職員

松下局長 田村次長 長谷川議事調査担当係長

### 傍 聴 者

安達議員 岩崎議員 大下議員 門脇議員 田村議員 塚田議員 津田議員  
戸田議員 錦織議員 西野議員 又野議員 森谷議員 矢田貝議員 吉岡議員  
報道関係者3人 一般2人

### 説明のため出席した者

伊澤副市長

【総務部】永瀬部長 辻統括調整監 佐小田防災安全監

[秘書広報課] 角課長 幸本シティプロモーション推進室長

[総務管財課] 松本課長 横木情報公開担当課長補佐

[防災安全課] 大野原課長 田中課長補佐兼危機管理室長

[調査課] 足立課長 宇山課長補佐兼行財政調査担当課長補佐 泉原担当課長補佐

[職員課] 伊藤課長 楠課長補佐兼人事担当課長補佐

[財政課] 長谷川次長兼課長 大塚課長補佐兼総括主計員 岩永係長

[契約検査課] 福田課長

[選挙管理委員会] 足立局長

【総合政策部】八幡部長 河田人権政策監兼人権政策課長

[総合政策課] 堀口次長兼課長 宇津宮広域行政推進室長 上場総合戦略室係長

[まちづくり企画課] 川本課長 藤堂まちづくり企画担当課長補佐

[都市創造課] 相野課長 赤井課長補佐兼都市政策担当課長補佐  
石原都市計画担当課長補佐 岸本都市計画担当係長

[交通政策課] 倉本課長 山根課長補佐 石上係長

[情報政策課] 最上課長

[地域振興課] 毛利課長

[男女共同参画推進課] 長谷川課長 舟木課長補佐

【都市整備部】

[都市整備課] 北村課長

【淀江振興本部・淀江支所】中久喜本部長兼支所長

[淀江振興課] 山浦次長兼課長 山川課長補佐兼振興担当課長補佐

[地域生活課] 小乾課長

## 審査事件

- 議案第 22 号 令和 4 年度米子市一般会計補正予算（補正第 9 回）のうち総務部所管部分
- 議案第 28 号 令和 5 年度米子市一般会計予算のうち総務部所管部分
- 議案第 30 号 令和 5 年度米子市土地取得事業特別会計予算
- 議案第 22 号 令和 4 年度米子市一般会計補正予算（補正第 9 回）のうち総合政策部所管部分
- 議案第 28 号 令和 5 年度米子市一般会計予算のうち総合政策部所管部分

~~~~~

### 午前 10 時 47 分 開会

**○岡田分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

本日は、9 日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案 3 件について審査いたします。

初めに、議案第 22 号、令和 4 年度米子市一般会計補正予算（補正第 9 回）のうち総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川総務部次長。

**○長谷川総務部次長兼財政課長** そういたしますと、議案第 22 号、令和 4 年度米子市一般会計補正予算（補正第 9 回）のうち、本分科会に付託されました総務部所管部分の予算につきまして説明をさせていただきます。説明につきましては、別途お配りさせていただいております令和 4 年度 3 月補正予算、歳出予算の主な事業の概要（国の補正予算関連等）に基づきまして説明をさせていただきます。

では、資料の 1 ページをお開きください。1 ページの上の段でございます。指定管理施設運営安定事業といたしまして 4,487 万 4,000 円を計上しております。これは、指定管理施設につきまして、エネルギー価格や物価高騰に対しまして、安定した施設の管理運営を行うため、光熱費、燃料費等の上昇分につきまして、指定管理者へ補助を行うものでございます。

続きまして、資料が変わります。補正予算書をお願いいたします。令和 4 年度米子市補正予算書を御準備ください。補正予算書の 32 ページをお願いいたします。歳出の総務費、総務管理費、一番上の欄でございますけれども、一般管理費の一番右上のところでございます。一般管理費、人件費といたしまして 3 億 6,223 万 2,000 円を計上しております。これは、定年退職者以外の自己都合によりまして職員が退職することに伴います退職手当などにつきまして予算を追加するものでございます。

説明は以上です。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

松田委員。

**○松田委員** 先ほどの補正予算書の一般管理費の人件費のところですが、退職のた

めということですが、何名の退職ということなんでしょうか、何名程度の。

○岡田分科会長 いいですか。

長谷川総務部次長。

○長谷川総務部次長兼財政課長 新たな退職者14名でございます。

○岡田分科会長 松田委員、いいですか。

○松田委員 分かりました。

○岡田分科会長 そのほか。それでは、ほかにありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 それでは、ないようですので、本件については終了をいたします。

次に、議案第28号、令和5年度米子市一般会計予算のうち総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川総務部次長。

○長谷川総務部次長兼財政課長 議案第28号、令和5年度米子市一般会計予算のうち、本分科会に付託されました総務部等の所管部分につきまして説明をさせていただきます。説明につきましては、予算説明資料としてお配りさせていただいております令和5年度当初予算、歳出予算の主な事業の概要を御準備ください。

予算説明資料の2ページをお開きください。2ページの下の段でございます。鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糶町庁舎整備等事業といたしまして2億2,062万9,000円を計上しております。これは、PFI事業として鳥取県と共に進めております糶町庁舎につきまして、整備費と維持管理費について、米子市負担部分を計上するものでございます。令和5年度10月、供用開始予定となっております。

続きまして、3ページの上の段でございます。シティプロモーション推進事業といたしまして229万3,000円を計上しております。これは、本市の魅力を内外に積極的に情報発信するための経費でございまして、マツダスタジアムにおけますプロモーションですとか、在住外国人によります情報発信事業などを計上しております。

続きまして、ページが飛びまして、11ページをお願いいたします。11ページの上の段でございます。県知事、県議会議員選挙といたしまして4,385万3,000円を計上しております。これは、令和5年4月9日執行予定の鳥取県知事及び鳥取県議会議員選挙の経費を計上するものでございます。

続きまして、ページが飛びますが、59ページをお願いいたします。59ページの上の段、消防団車庫整備事業といたしまして1,672万8,000円、それから下の段、消防ポンプ自動車整備更新事業といたしまして3,453万6,000円を計上しています。いずれも消防力の維持向上のため、車庫ですとかポンプ車の更新、整備を行うものでございます。

続きまして、資料が変わります。予算書のほうをお願いいたします。令和5年度米子市予算書を御準備ください。予算書の7ページをお開きください。7ページの第2表、債務負担行為の一番下の欄でございます。一番下の項目に、車両購入費といたしまして、令和5年度から令和6年度までの期間で720万円を設定しております。これは、昨今の自動車の納期が不透明な状況がございますので、令和6年度更新予定の議長車等の車両の購入

につきまして、令和5年度中に発注ができるように債務負担行為を設定するものでございます。

説明は以上です。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

稲田委員。

**○稲田委員** 予算でいいですね。糺町庁舎のところ。主な事業の概要の2ページの下段のところなんですけど、予算の内訳等々というよりも、ここに令和5年10月と書いてあって、私の中では初めて10月と明記されたものを見たような、10月頃とは言っていないんですけど、10月が決まったというふうに理解させていただいた上で、最近ですと、こども総本部をふれあいの里につくって、1年三、四か月前です。言わば、この本庁舎、第2庁舎にあった機能を向こうに移したというか、機能強化するための施策であったと。今回もそういう目的で糺町に移るんだけど、ここから他のところに移るときに一番懸念しなきゃいけないのは、市民の方に混乱を来さぬようにということで、まず、ふれあいの里のときに何か問題というか、細かいのは別としてですよ、言わば速やかに至ったとは思っておりますが、あえてそこに何か教訓等があったのかどうか、ちょっとまずそこからお聞かせください。

**○岡田分科会長** 足立調査課長。

**○足立調査課長** 昨年度、こども総本部、設置させていただきましたが、ふれあいの里のほうに移転させていただきましたが、大きな混乱等はなかったというふうに認識しております。事前に住民の方に周知をさせていただいておりますが、若干それを見られてなくて分からない方がいらっしまったかと思っておりますが、大きな混乱はなかったというふうに思っておりますし、このたびにつきましても、県と市が連携を図りながら、例えば広報だけではなくて、ちょっといろいろな媒体を使って、事前に時間をかけて周知をしていきたいというふうに思っているところでございます。

**○岡田分科会長** 稲田委員。

**○稲田委員** 私も結構言われるかなと。ふれあいの里、何であそこに移っちゃったのみたいなのがなかったんですね。そういう話題が出たときは必ず、教育委員会と、それから福祉保健部の子ども部門を一緒にすることで強化する云々は説明をしてきた一人なんですけれども、今回も、ですから、同じようなことが起きないようにといても、前回はスムーズだったので、今回も、たかをくくっちゃいけませんけれども。

一般の方よりも多分事業者の方が多いのかなとは思っていますが、先ほど課長のほうからもう既におっしゃられたとおり、そこは事前に周知していきますということでしたので、くれぐれもその混乱がないようにということはこちらでお願いだけさせてもらって、一応この項の質問は終わりたいと思います。

もう一つなんですけど、その隣になるというか、シティプロモーション推進事業で、これもそれぞれ1個1個聞きたいところはやまやまですが、懸垂幕についてちょっと私伺うことが最近ありまして、この本庁舎のバス停側という言い方が適しているか分かりませんが、下がっているあれのことかと思うんですが、39万6,000円で計上されてますけれども、この内容は決まっているものなんでしょうか。

○岡田分科会長 角秘書広報課長。

○角秘書広報課長 懸垂幕の作成の内訳でございますけれども、これは枠で予算化をさせていただいておりますので、必要に応じて主要な施策ですとか、情報発信が必要なものというところで考えております。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 最近と言っていていい分かりませんが、オリンピック関連であつたりとか、Official髭男dismさんのことであつたりとかあつて、あそこがにぎやかだと何かやっぱり喜ばれる市民の方もあるもんですから、ネタをつくってまでとは言いませんけれども、機を逸することなく、米子市民の活躍であるとか、シティプロモーションに係るものがあれば、的確に予算を執行していただきたいと思います。

私からは以上です。

○岡田分科会長 そのほか。

松田委員。

○松田委員 私のほうは、先ほどありました糶町庁舎の関連で伺いますけど、本庁舎と糶町庁舎と分かれる部門があつて、そこをつなげる、市民の方がつながるような、テレビ通話ですか、テレビ通話とか、そういった形のは予定はあるんでしょうか。

○岡田分科会長 足立調査課長。

○足立調査課長 今、委員御指摘のとおり、都市整備部が糶町庁舎に移るに当たりまして本庁舎と離れるということに関しては、その連携体制の確保ということは課題であるということをご認識しているところでございます。そのために、先ほどのこども総本部ができたときに、ふれあいの里と本庁をつないでいるようなテレビ通話システムのほうを新たな糶町庁舎のほうにも設置をいたしまして、本庁舎と連携が図れるようにしたいというふうに思っているところでございます。以上です。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 分かりました。もう一つ、ちょっとどこのところで伺っていいかというところなんですけど、本庁舎のほうに県税事務所のほうに移ってきますよね。その場合に、収税の担当の方の県の職員と市の職員の方との連携が取れてというような効果が、何か目指しているというか、効果を見込んでいる部分があるんでしょうか。

○岡田分科会長 足立調査課長。

○足立調査課長 今の県税事務所のほうが市の全部門と隣接するところの効果ということのお尋ねだと思いますが、具体的に、来られたときに、市税、県税、分かれているところがありますが、同時にお納めいただくようなことも出てきますので、1か所で済むということはあろうかと思ひますし、本庁舎に来られたときに混乱を来さないように、共同での受付窓口というものは設置したいというふうに思っているところでございます。

あと、例えば同じ税務部門が隣り合わせになりますので、当然長い職員、異動してきた職員っておりますので、そういった蓄積されたノウハウですとか情報共有することによって、双方の職員がスキルアップできるんじゃないかというふうに思っているところでございます。以上です。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 どうしても、私、金融機関におつたもんで、個人情報についてはかなり厳し

い取扱いだったんですけれども、県税を納める方で、市税を納める方の、イメージ的にはこの本庁舎内に別会社が2つ入ってきて個人情報を管理するというようなイメージなんですか。ちょっと教えてください。

○岡田分科会長 足立調査課長。

○足立調査課長 今、委員御指摘のとおり、隣接することになったとあって、一つのデータを一緒に取り扱うということとはございません。隣に来たということで、それぞれ個人情報はそれぞれが持って、法的にまずいということはすることはございませんので、そこは確保されているというふうに思っていただけだと思います。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 きちんと分けられるということが前提なんですけど、横のフロアでということですので、納税者の方の個人情報が、県も市の個人情報が、県の方も容易に見れるようなことはないということなんだろうけども、市民の方からすれば、個人情報の意識が高い方は、やっぱりその辺りは大丈夫なのかという声もあると思いますので、先ほどあったようにきちんと分けて、あくまでも個人情報が共有されてはならないということから、その辺りはきちんとルール、規程をつくっていただいて管理していただくようお願いします。

もう一つ、すみません。

○岡田分科会長 どうぞ。

○松田委員 別のというか、予算別説明書のところの3ページで、庁舎管理事業のところなんですけれども、庁舎の各施設等の管理業務、営繕、保守委託等というところで、前年度、4年度が9,400万だったのが、令和5年度は1億2,000万ということで、2,500万増加しておりますけど、その要因とか内訳を教えてくださいませんか。

○岡田分科会長 松本総務管財課長。

○松本総務管財課長 こちらの庁舎管理事業の差額、こちら2,542万4,000円ございます。こちらの主なもの、一番大きいものは光熱費でございます。およそこちらのほうが1,700万円増えております。

それ以外のものとしましては、委託費の人件費分の増であったりとか、実際に業務を行う上での増減というのはありますけれども、やはり大きいのはその光熱費及び委託費等の人件費増の部分でございます。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 県税事務所が本庁舎に移ってくることに對する費用というのは、この中に入っているんでしょうか。

○岡田分科会長 松本総務管財課長。

○松本総務管財課長 はい、こちらの中に入っております。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 光熱費が大半ということなんですけれども、この光熱費に関しては、令和5年度、この増加分でこれ以上カバーできるというか、これよりも高くなるということはどの程度、可能性としてあるんでしょうか。

○岡田分科会長 松本総務管財課長。

○松本総務管財課長 現状ではこの額でいけるというふうに考えておりますけれども、や

はりこういう金額、額が来年度、令和5年度、どのような情勢になるかというのは分かりませんので、その情勢によりましては、この額を超えるという可能性はゼロではないとは思っております。

○**松田委員** 以上です。

○**岡田分科会長** そのほか。

奥岩委員。

○**奥岩委員** 何点か確認させてください。まずは、シティプロモーションのほうで在住外国人による情報発信とあるんですけど、これはどういった形で、どこに情報を発信されるんでしょうか。

○**岡田分科会長** 角秘書広報課長。

○**角秘書広報課長** シティプロモーション推進事業のうち、在住外国人による情報発信についてのお問合せでございますけれども、昨年外国人の方々に広報チームをつくっていただきまして、YONAGOODというチームがございます。そちらのほうで在住外国人の方で6名で構成をしております。この事業の中でYouTube動画のほうを作成いただきまして、それを今、市のホームページのYouTube動画のほうで配信をさせていただいております。というところで、ホームページをまず御覧になれる方というところで見られる方全て、そして各国から、いろんな国から来ていらっしゃると思いますので、そういう方の独自の発信というところで、お住まいの国ですとかそういったところの、市内、市外含めて全国的な発信をしているところでございます。

○**岡田分科会長** 奥岩委員。

○**奥岩委員** 秘書広報さんのほうから上がってるんですけど、シティプロモーション、シビックプライド醸成と、海外の方々、海外出身で本市在住の方々に発信していただくということであれば商工のほうも関わってくると思いますので、現在ちょうどアフターコロナというところで、インバウンド需要も今後高まってくるだろうと思いますので、ぜひそちらのほうとも連携していただいて、今後も活動していただけたらと思います。よろしくお願ひします。

あわせて、これも確認になるんですけど、広島東洋カープ戦のプロモーション予算、来年度も計上していただいているんですが、たしか来年度はサミットがあつて、マツダスタジアムで試合ができない時期が幾らかあつたかと思うんですが、いつ頃の時期を想定されていますでしょうか。

○**岡田分科会長** 角秘書広報課長。

○**角秘書広報課長** 広島東洋カープ戦におけるプロモーションの時期についてでございますけれども、大体7月の頃というところで調整を進めさせていただいているところでございます。

○**岡田分科会長** 奥岩委員。

○**奥岩委員** そういたしますと、サミット後という形にはなるとは思うんですけど、前がいいのか、後がいいのかというところはちょっと分かりませんが、せつかく広島のほうでもサミットでございますので、そういったところも意識をしていただきながら、先ほどの在住外国人さんの話じゃないですけど、シティプロモーションに限らず、商工のほうにもつながるように動いていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

続きまして、消防団車庫整備事業のほうになるんですけど、こちら順次ということで、今回は巖分団さんということなんですけど、ここが、場所でいいますと、ちょうど保育園さんですか公民館さん、改良区さん、道を挟んで養護学校さんがあったりとかで、ちょっとなかなか緊急で出動するときに難しいのかなというようなところがありますが、これから土地の取得っていうふうになるとは思うんですけど、場所的にはあそこがすごく使い勝手がいいと思うんですけど、どういったところを想定されておられますでしょうか。

○岡田分科会長 大野原防災安全課長。

○大野原防災安全課長 消防団車庫の立地についてのお尋ねでございます。現状設置しております巖分団の車庫は、委員さんおっしゃるとおり、非常に手狭なところがございます。この場所を設置するに当たりまして、地元の分団長あるいは公民館長等々と事前協議をする中で適正な場所を今、選定途中でございますが、要望としましては、やはり消防団のポンプ車が出動するためにアクセスがいいところとか、あるいは消防団員さんが集まりやすいところ、さらには公民館になるべく近いところがいいといったような要望を受けて、その要望に見合った場所を今検討しているところでございます。以上です。

○岡田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 アクセスがいいのと、人が集まって、少し緊急出動の際、危険性があるんじゃないかというのは表裏一体だとは思いますが、引き続き分団の方々、御意見聞きながら、地元の方とも今、意見調整されてるということですので、しっかり御意見聞いていただいて、何度か調整をしていただいて、場所選定していただければと思います。よろしくをお願いします。

○岡田分科会長 そのほか。

森田委員。

○森田委員 2点ほど確認させていただきたいんですけども、まず1点目が、事業別予算説明書の17ページの一番下、広報よなご関連経費で増額になっている部分が521万2,000円ですかね。これは、物価高でインク代の高騰などによる影響というところがあるのでしょうか、お聞かせください。

○岡田分科会長 角秘書広報課長。

○角秘書広報課長 事業別予算説明書の17ページの広報よなご関連経費の増額の要因でございますけれども、今、委員御指摘のとおりでございます。燃料費の高騰に伴います増が主なものでございます。

○岡田分科会長 森田委員。

○森田委員 ありがとうございます。分かりました。

2点目に関してですけれども、予算説明資料の3ページの上段、シティプロモーション推進事業の在住外国人による情報発信、先ほどYONAGOODのことであるというような答弁をいただいたと思うんですけども、数字だけ見させていただきますとあんまり伸びていないような印象を持ったんですけども、改善点、具体的にどう改善して伸ばしていくような策があるのかということがもしあれば、お聞かせ願えたらと思います。

○岡田分科会長 角秘書広報課長。

○角秘書広報課長 在住外国人のプロモーション動画の閲覧数等の伸びの対策ということでございますけれども、確かに、今、委員御指摘のとおり、件数があまり大きな数字で

はないということは承知しております。これからも、情報の発信の仕方って、まだ工夫が足りないのかなというふうに思っておりますので、多くの方に見ていただきますように、引き続きその工夫というところで努力してまいりたいと思っております。以上です。

○岡田分科会長 森田委員。

○森田委員 ありがとうございます。ユーチューブ動画で発信していくとのことだったので、数字とかも取りやすいですし、そういったものを見ながら随時工夫をしていただけたらなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

○岡田分科会長 そのほか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 ないようですので、本件については終了をいたします。

次に、議案第30号、令和5年度米子市土地取得事業特別会計予算を議題といたします。当局の説明を求めます。

長谷川総務部次長。

○長谷川総務部次長兼財政課長 そういたしますと、議案第30号、令和5年度米子市土地取得事業特別会計予算につきまして説明をさせていただきます。説明につきましては、こちらの令和5年度事業別予算説明書、こちらで説明をさせていただきます。

事業別予算説明書の207ページをお願いいたします。207ページの上の段でございます。起債償還元金といたしまして4,702万円を計上しております。これは、平成18年度に土地開発公社健全化計画を策定いたしまして、土地開発公社の用地を取得しておりますけれども、その際の起債の償還の元金を計上するものでございます。

続きまして、下の段でございますけれども、先ほど説明いたしました起債の利子を計上するものでございます。

なお、土地開発公社につきましては、平成25年度で解散しておりますので、申し添えます。

説明は以上です。

○岡田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 ないようですので、以上で総務部所管の審査を終わります。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午前11時15分 休憩**

**午前11時33分 再開**

○岡田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

議案第22号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第9回）のうち総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

堀口総合政策部次長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 それでは、議案第22号、令和4年度米子市一般会計補正予算のうち総合政策部所管部分につきまして説明いたします。説明は、別途お配りしております令和4年度米子市補正予算書にて行いますので、お願いいたします。

それでは、補正予算書の32ページをお開きください。よろしいでしょうか。2款1項1目一般管理費の説明欄の上から3番目、避難行動要支援者個別計画作成推進事業です。これは、事業方針の見直しにより個別避難計画の作成方法に変更があり、これに伴う委託料や負担金について減額補正を行うものです。

続きまして、その下、9目企画費の生活路線運行対策事業と、その下、循環バス（だんだんバス）運行事業です。いずれも新型コロナウイルス感染症の影響による運賃収入の減少を主な要因として、補助金及び負担金の実績が増えたものです。

以上が総合政策部所管の補正予算の概要でございます。御審議のほどお願いいたします。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

今城委員。

**○今城委員** 予算に関しては結構だと思っております。ただ、先ほど言われました避難行動要支援者個別計画作成推進事業ですが、本会議のときにも御答弁いただきましたように、実際のこの事業が要介護3以上というところをターゲットにしていくということで今推進をしてくださっておりますし、新年度予算にもそのような形で入っております。

ただ、本当に懸念されるのは、じゃあ、要介護2までのところとか要支援の人たちにはそのところをどうするのかというのは、これはこれまでも本会議でも申し上げてきましたけれども、そのところっていうのもやっぱり考えていけないときは必ず来るなというふうに思っていますので、この事業で全てをカバーするっていうことではなくって、実際にそういう人たちをどうするのか、地域でどうするのかっていうことは、やはり今後の課題として必ず残ってくるということを申し上げてきましたので、この辺あたりの対策とか対応についてももしっかりお願いしたいということを申し上げたいと思います。これは要望です。

**○岡田分科会長** そのほか。

〔「なし」と声あり〕

**○岡田分科会長** ないようですので、本件については終了いたします。

次に、議案第28号、令和5年度米子市一般会計予算のうち総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

堀口総合政策部次長。

**○堀口総合政策部次長兼総合政策課長** それでは、議案第28号、令和5年度米子市一般会計当初予算のうち総合政策部所管部分について説明いたします。

説明は、別途お配りしております令和5年度当初予算、歳出予算の主な事業の概要にて行いますので、お願いいたします。

初めに、2ページをお開きください。上の段、避難行動要支援者個別計画作成推進事業として89万1,000円を計上しております。これは、災害避難時に特別な配慮を要する避難行動要支援者について、災害に備えるため、避難行動要支援者名簿や個別避難計画を作成するものです。

次に、3ページをお開きください。下の段、淀江保育園跡地活用事業として1億1,187万7,000円を計上しております。これは、令和4年3月で閉園した淀江保育園及び隣

接する旧淀江幼稚園の建物解体、除去及び附属設備等の撤去や、隣接する公衆道路への取付けなど、敷地の整備を行うものです。

続きまして、4ページ上の段、生活路線運行対策事業として1億6,564万1,000円を計上しております。これは、生活バス路線の中で運賃収入だけでは維持することができない不採算路線について、運行経費の一部を運行事業者に対して補助するものです。

同じく4ページ下の段、循環バス（だんだんバス）運行事業として6,284万円を計上しております。これは、米子市中心部の移動をスムーズに行うため、だんだんバスの運行を実証運行も含めて実施するものであります。また、本格運行に向けてバス車両を購入するものです。

続きまして、5ページ上の段、米子まちなかコミュニティ活性化支援事業として2,116万7,000円を計上しております。これは、町なか抱える課題を解決し、にぎわいの創出につなげるため、空き施設を活用した地域活性化の取組に対する支援に係る経費を計上するものです。

同じく5ページ下の段、ノーマイカー推進事業として84万6,000円を計上しております。これは、ノーマイカーデーを週に1回実施し、参加者の当日のバス運賃を半額にしたり、協賛店舗等で得点を受けられるようにするものです。

続きまして、6ページ上の段、公共交通フェスタとして180万円を計上しております。これは、利用者の減少が続く地域公共交通の利用の回復に向けて、地域交通をより身近に感じ、親しみを持ってもらうための啓発イベントを開催するものであります。

同じく、6ページ下の段、鳥取大学医学部附属病院とのまちづくり連携事業として100万円を計上しております。これは、鳥取大学医学部附属病院が建設する新病院を核としたまちづくりについて検討するため、調査・研究を行うものです。

続きまして、7ページ上の段、関係人口拡大事業について142万円を計上しております。これは、本市のファンクラブであります米子ヨネギーズクラブの運営や、県人会、同窓会の出席に加え、本市の魅力をPRするイベントをUR都市機構と連携して神戸市内において実施し、本市と様々な形で継続的かつ経済的につながっていただける関係人口の拡大を図る事業でございます。

同じく7ページ下の段、ゴールドコースト市交流推進事業として78万4,000円を計上しております。これは、ゴールドコースト市との民間交流の支援や、青少年を対象とした国際理解講座の開催を通じ、英語圏の都市との交流を推進するものです。

続きまして、8ページ上の段、がいなロード開通記念事業について366万円を計上しております。これは、がいなロードの供用開始日に合わせた開通記念イベントの開催や、本市が関連するイベントを取りまとめ、一体的にPRすることで、開通を契機としたにぎわい創出を図るものでございます。

続きまして、10ページ上の段、弓浜コミュニティー広場照明設備整備事業として、9,170万円を計上しております。これは、弓浜コミュニティー広場第1多目的広場に照明設備を整備することで、広場の利用率向上及び本市のさらなるスポーツ振興を図るものです。

少し飛びまして、38ページ下の段、よどえ魅力発信プロジェクト推進事業として、653万7,000円を計上しております。これは、地元自治会が主体となって取り組む名水

の里、天の真名井水車・米搗き復活プロジェクトに県との連携を図って支援を行うほか、ストーリーパンフレットの増刷や淀江の魅力発見をテーマとしたフォトコンテスト、関連企画などを開催するものです。

次に、39ページ上の段、伯耆古代の丘公園整備事業として、3,210万円を計上しております。これは、園内施設整備や樹木の伐採などを行うことで、利便性向上を図り、開放感あふれる公園づくりを進め、来園者の増加と認知度向上につなげていくものです。

続きまして、52ページをお開きください。52ページ下の段、都市計画図管理事業として、6,948万1,000円を計上しております。これは、都市計画決定に伴う情報の更新及び都市計画に関する図面の基本となる地形図の更新に合わせて、立体的な地形情報を有する3D都市モデルを整備するため、測量等の業務の委託に係る経費を計上するものでございます。

続きまして、54ページをお開きください。上の段、まちなかウォークアブル推進事業（米子駅周辺地区）としまして、1億8,459万4,000円を計上しております。これは、歩いて楽しいまちづくりとして取り組みます町なかの3つのエリアのうち、米子駅周辺において、駅の南側にあります市道米子駅目久美町線の整備、目久美公園の測量設計、その他道路空間の利活用に関する実証実験等に係る経費を計上するものでございます。

次に、同じく下の段、まちなかウォークアブル推進事業（角盤町周辺地区）として、2億7,535万6,000円を計上しております。これは、同じく、歩いて楽しいまちづくりとして取り組みます町なかの3つのエリアのうち、角盤町周辺において角盤通りと呼ばれております市道角盤町通り西線の整備、朝日公園の整備、その他道路空間の利活用に関する実証実験等に係る経費を計上するものでございます。

以上が総合政策部所管の当初予算の概要となります。御審議のほどお願いいたします。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 何点かお願いします。

まず、ノーマイカー推進事業になるんですけど、私は金曜日、マイカーで来るので、あまりちょっとお話ししづらいんですけど、カード提示によって協賛店さんでもいろいろと特典が受けれるようになっていようなお話でしたが、協賛店さんの場所といいますか、エリアというのは、どの辺りを想定されておられますでしょうか。

**○岡田分科会長** 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** ノーマイカー運動の協賛店の場所ということでございますけども、今年度の例でちょっと説明させていただきますと、中心市街地を中心に主に飲食店に御協力いただいて、例えばですけど、ワンドリンクサービスであったりとか、あと食事で空揚げのようなのが一品サービスがあるとか、そういうようなサービスを提供していただいております。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 中心市街地ということで、恐らく米子駅を使われてコミュニティーバスですかね、使われたりとかそういった方が多いと思いますので、少し話はそれるんですけど、来年度、南北自由通路、開通もございますので、いろいろと中心市街地ですとか米子駅周

辺につきましては期待するところでありますので、そういった機を逸することなく、ぜひ民間の方々にも御協力仰いでいただきたいと思ひます。また、コロナのこともありましたので、さらにこれを契機ににぎわいを復活していただければというか、今まで以上ににぎわい創出になるように御協力いただいたりですとか、必要であれば御相談に乗っていただいたりとか、そういったところにもぜひ手が届くように、公共交通の利用促進でありますけど、市役所としていろいろなサービスができるように協働していただけたらなと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

次に、公共交通フェスタのほうになるんですけど、たしか昨年第1回をやられて、補正だったとは思ひんですけど、かなり御好評をいただいたような記憶があるんですけど、そのときの予算よりもちょっと半分ぐらいに減っているのかなってというような気がするんですけど、予算が少しボリュームが減ったことについて伺ひます。

**○岡田分科会長** 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** 今年度は7月補正で予算化させていただきました、事業実施いたしました。事業予算額については、補正額は350万円でやりましたけども、事業自体は11月にイベントを実施しまして、ちょっと今、最終の精査をしておりますけど、決算見込みが全体で300万円程度の事業費がかかりました。このイベントを実施するに当たりまして、イベントののぼりですとか、三角コーンとか、タープテントなど、イベントで使ひます用具を70万円程度購入しております、これについては来年度も利用できるということで、先ほど言ひました300万円から70万円を引きますと、230万円というふうになります。この230万円をベースにしまして、今年度は初年度ということもありまして、想定できるコンテンツを盛りだくさん、ちょっとやらせていただいたというところもございましたので、今後持続可能なイベントとしていくという視点で来場者アンケートなども参考にしまして、内容を精査した結果が180万円になったということでございます。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 分かりました。初年度は、今後のこの公共交通フェスタの継続を見込んで備品購入があったので、それよりは来年度、第2回のところは少し減るよってというようなお話だったと思ひますので、承知いたしました。

ただ、来年度は、先ほども申し上げましたとおり、米子駅のほうが南北自由通路開通ということもござひますので、そういった機会をせっかくなので捉えていただいて、昨年よりもさらに盛り上がるように予算の範囲内で工夫していただくのか、必要によっては補正を組むのか、民間さんの力を借りてっていうのも限度があると思ひますので、そういったところをぜひ実行委員会の方々と協議していただいて、どういった形が一番いいのかなっていうところと継続性のところと、あとは繰り返しになりますが、来年度は駅の通路の開通もござひますので、そういった両方のところを見て、できるだけ個人的にはですよ、できるだけ個人的には盛大にやっていただいて、南北自由通路もできたので、米子駅便利になりましたよっていうところをここでアピールしていただきたいなと思ひますので、ぜひぜひその辺は、実行委員会の方々のお話も既に聞いておられるとは思ひますけど、聞いていただいて進めていただきたいなと思ひます。

ちなみにこちら、第2回の方はいつ頃開催を予定されておられますでしょうか。

**○岡田分科会長** 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** 第2回の開催につきましては、南北自由通路、がいなロードの開通が7月の終わりから8月ですので、その辺のイベントが終わった辺り、その流れをうまく利用してといいますか、いい流れが来ると思いますので、9月に開催したいということで、今、調整しております。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 少し素人考えでいくと、先ほど別のところでも予算計上されてますけど、開通記念のところと一緒にってなったほうが何か盛り上がるのかなというような気もしたんですけど、今、課長さん御答弁ありましたとおり、1回で終わらせるんじゃなくて、来年度期間中も継続的にあそこで事業、イベントを興して、公共交通の利用促進につなげていくんだってということだと思いますので、ぜひ年1回なのか、年に複数回あるのかってのは分かりませんが、これが公共交通の利用促進につながるように、ただ人が集まるってだけですとまたちょっと違うのかなと思いますので、利用促進につながるようにイベント内容ですとか開催内容も考えていただけたらと思います。

時期については承知いたしました。ちょっと素人考えだと、8月の開通のときに式典と合わせてフェスタもあったほうが、人がいっぱい集まるのかなとは思ったんですけど、そこで1回集まっていたいて、さらにもう1回、公共交通を利用していただけて来ていただけてってというような形で開催されるってというようなことであればいいのかなと思いますので、ぜひぜひそちらのほう盛り上げていただきたいなと思います。

続きまして、淀江の魅力発信プロジェクト推進事業のほうになるんですけど、こちら2つほど事業、予算計上していただいております。水車のほうも復活プロジェクトということで、地元さんのほうも盛り上がっておられるでしょうし、あそこの地域は、それこそ何年か前からになりますけど、インスタ映えでいろいろとカフェがあったりとかっていうので、今後も非常に期待できるコンテンツがある場所ですので、これから水車をどのように活用するのか、またどこかのタイミングで更新の時期が来るかと思っておりますので、そういったところをぜひ地元の方とも今後とも協議していただけて、続けていただけたらなと思いますので、お願いします。

このパンフレットのほう、やりすぎ淀江伝説、私も読ませていただいたことありますが、中身の真偽は別として非常にインパクトがあって、淀江の魅力発信には有用なものだと思っております。これは発行されて、配布のほうはどちらにされる予定でしょうか。

**○岡田分科会長** 山川淀江振興課長補佐。

**○山川淀江振興課長補佐兼振興担当課長補佐** ストーリーパンフの配布先でございますが、実は令和3年度にもう既に1回目発行いたしておまして、いろんなところに配布をさせてもらってます。公民館、小中学校、市内の市有施設、あとは県のほう、妻木晩田、また道の駅とか観光案内所、皆生温泉旅館、または東京のアンテナショップにも配布をさせていただいております。

今回増刷する分につきましても、県のほうにも約半分提供いたしまして、県のほうからも発信をしていただくということで、今、配布している先に増刷して配布するのを基として、さらにいろんな施設等に配布のほうは随時広げていきたいなというふうに思っております。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** ぜひお願いいたします。2パターンあると考えてまして、地元の方々に知っていただく、魅力再発見していただくっていうパターンと、もう一つは、観光振興の面で本市を訪れられる方々が淀江に興味を持っていただくっていうのと2パターンあると思いますので、そういった意味も含めると、先ほど御答弁にありました道の駅ですとか、県内、県外を問わずがいいかなとは思いますが。この辺り、米子に観光でいらっしゃる方っていうのは米子だけっていうことはないと思いますので、県内、県外周遊されると思います。東部でいったら、大きいところだと鳥取砂丘、西部でいうと境港の水木しげるロード、そして島根、お隣でいいますと、出雲大社といった大きいところに行かれると思いますので、ぜひ近隣のほうにも協力を仰いで、近くの道の駅ですとか観光施設とか置いていただけたらなと思いますので、よろしくお願いいたします。

長くなりましたが以上です。

**○岡田分科会長** それでは、暫時休憩をいたします。

午前 11時57分 休憩

午後 1時00分 再開

**○岡田分科会長** それでは、予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

稲田委員。

**○稲田委員** 午後からもよろしくお願ひします。

たくさん答弁にいらしていただいて、すみません。5月8日を過ぎれば、ここの部屋かどうかは分かりませんが、たくさん来ていただいて、思いに込めるようにたくさん質問したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

簡潔に済むものとちょっと長くなるものがあるが、順番が前後しながらになります、よろしくお願ひします。38、39ページで、淀江のことが触れられております。午前中の一番終わりの奥岩委員のところ、よどえ魅力発信プロジェクトのことが触れられましたが、その隣、39ページ上段の伯耆古代の丘公園整備事業ですね。現年、来年度足すと約5,000万円ぐらいと、かなり大きい費用が投下されていくのかなと思っております。ぜひとも淀江の魅力発信の先頭に立たれているのは淀江支所長かと思っておりますので、この伯耆古代の丘公園整備事業にかかる思いというか、こういうふうになりますよという宣伝も兼ねて、ぜひともお聞かせいただきたいと思っておりますので、お願ひいたします。

**○岡田分科会長** 中久喜淀江支所長。

**○中久喜淀江支所長** 伯耆古代の丘公園整備事業にかかる思いということでございますけれども、私も淀江支所長になりまして約1年が立とうとしております。私は、実はあんまり淀江に親戚は1軒あるぐらいでほとんど縁がなかったんですけども、就任してお話をさせていただきましたら、非常に地元におられる年配の方であるとか、あとは都会に住んでいる淀江の出身の方が非常に郷土愛が強くて、いろいろと東京から帰られたりとか、近隣のほうから私の部屋に参ってまいりまして、淀江の振興のため、ああしたらいいんじゃないか、こうしたらいいんじゃないかという具合にいろいろと話していただいております。

(発言する者あり)

分かりました。すみません。それで、5,000万ほどの予算計上させていただいておりますけれども、それに込めて淀江の振興に込めるよう頑張っていきたいと思っておりますので、よ

ろしくお願いします。

(発言する者あり)

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 もう少し公園がこうだという、例えば小さいお子様から御家族連れ、子育て世代、あるいは高齢世代と、こういう魅力があります、断片的でもいいので、すばすばすばとお聞かせください。

○岡田分科会長 中久喜淀江支所長。

○中久喜淀江支所長 水と緑と史跡の町が淀江の売りでありますので、非日常的な体験ができるように施設整備に努めていきたいという具合に思っております。老若男女含めてです。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 じゃあ次に移ります。

54ページ辺りというか、ウォークブルに関しては、昨日も松田委員の予算の質問もありましたし、いろいろと注目もさせていただいております。結局、これやっていくに当たって、目標であるとかこういったものに関しては、明確なものがないような趣旨の答弁だったような記憶はしておりますが、これだけの大きな予算を投下していくに当たって、文字、字面を読めば分かるのかもしれませんが、私はちょっと絵に落としたものというか、具体的なものが見たいなと感じるんですが、そういったものはまた今後見せてもらえるのでしょうかお尋ねします。

○岡田分科会長 相野都市創造課長。

○相野都市創造課長 これから進めますウォークブル推進事業等に関するイメージ図とか、そういったようなことでの絵面かと思うんですけども、今、様々な公園ですとか道路の設計のほうを進めております。それを進めていく中で、全体一つ一つのイメージができてきまして、最終的には全体のイメージにつながるような取組が、今、進んでいるところですので、今回の議会の当初の議会運営委員会のほうでも若干予算の資料の中で、歩いて楽しいまちづくりに関係する位置図等を示させていただいた中で、例えばイメージ、パース図とかそういったものが加わっていけば、全体のイメージができてくるんじゃないかと思っていますので、そういったものをつくりながら市民の皆さんに分かっていただけるようなまちづくり、こういったものを進めていきたいと思っております。以上です。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 個々に聞いていきたいんですけど、かなりありますので、一つだけ聞かせてください。54ページ下段のまちなかウォークブル推進事業の角盤町周辺地区のところの、朝日公園整備事業、4,600万円強が計上されておりますが、多分朝日公園って、やっぱり地図でここだって、私は事前にちょっと伺ってたんで場所は分かっているんですけど、一つの公園に4,600万円っていうのは結構大きい額だと思うんです。その地域の公園の遊具であるとか、樹木であるとかいろんなことで要望がある中で、ここにこの公園に対して4,600万円、具体的には内容は何かと。ここが選ばれているというのは、ウォークブルの地域に入ったからでしょうけど、ちょっとその辺の背景も含めて、背景と内容を教えてください。

○岡田分科会長 相野都市創造課長。

**○相野都市創造課長** このたびの朝日公園に対します整備内容ですとか、これまでに至る経緯等のお尋ねでございます。

まず、経緯ですけれども、角盤町周辺の様々な事業者さんですとか市民の方とお話する中で、ウォーカブル推進事業っていう、今の取組のベースになるものをヒアリングさせていただきながらつくらせていただきました。その中で、角盤町の通りから、やはり朝日町のほう、こういったところも整備、歩いて楽しいまちづくり、ウォーカブル推進事業の中で整備をしていったほうが、整備をしていきたいというような思いをお互いにお話しさせていただきながら計画のほうをつくらせていただいたところです。

やはり朝日町の通り、通りからちょっと若干離れてるんですけども、そこにある公園というのは、その朝日町周辺の貴重な財産であると考えております。その公園をいかに歩いて楽しいまちづくりにつながるような整備ができるかということで、調整のほうをさせていただいたところです。

来年度の事業費約4,600万ですけれども、そのざっとした内訳ですけれども、一番大きいのがトイレをバリアフリー化するっていうことで、約2,600万ぐらいですね、それぐらいかかるようになっております。あと、その他遊具ですとか芝生、そういったようなところの整備ということで、予算のほうを計上させていただいているところです。あと、調査設計費、土質の状態とかそういったものを調べるということで、そういったものも計上させていただいております。説明は以上です。

**○岡田分科会長** 稲田委員。

**○稲田委員** トイレに関しては、4,600万のうち2,000万円後半かな、が公園整備の全体額のうちの3分の2ぐらいかな、そのトイレの、これ更新ですよ。芝生化等もありました。すみません、これイメージで話して大変恐縮なんですが、朝日町って名前は朝なんですけど、夜行くことが多かったりするもので、ウォーカブルは朝昼晩問わずなんでしょうけれども、あそこ、ちょっと奥まっていますよね、はっきりいって。現在、あそこの人通りというのは、地区の自治会のほうの情報を聞きますと、それほど地域住民の方も多くはなく、小学生ぐらいの年代も少ないのかなと思いますので、トイレの改修ですのでお金かかるのはこれは承知します。ただ、ウォーカブルでその地域も人通りをとということであれば、より一層の工夫が必要かなと思いますので、冒頭申しましたイメージ図とか、今後どうしていくかというのは、また逐一情報をいただきたいと思います。

次に移りますと思ったら、付箋を外してしまいました、ありました。ページ数6ページ下段になります。鳥取大学医学部附属病院とのまちづくり連携事業についてで、これは予算自体は100万円で、これも書いてある内容は分かるんですけども、結局、以前、鳥大医学部中心にこういうふうに動きますよというような話はあったんですけども、具体的には、要はソフトに特化しているのか、それとも地域を整備していく、例えば湊山公園の利用も含めたハードも入れていくのか、そういったことは今どういった状況なのか、今後決まっていくなれば今後決まっていくなで、その状況を教えてください。

**○岡田分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** 今の連携事業ですけども、まず、具体的にソフトかハードかと、そういうお尋ねがありましたけれども、これは両方でございます。それで、たまたま今年度につきましては、この後御報告させていただきますデジ田の関係で、ようやく鳥取大学医

学部さんとの連携の成果というのが、皆さん方にも目に見える形で一つは表せたのかなと思っておりますが、ただ、まだ課題となっておりますのが、以前からお話をさせていただいております、先ほど委員さんからもありました湊山公園、あそこの公園をどうするのかとか、まだ鳥取大学医学部の、いわゆる新しい計画というのがまだまだ明らかになっていない段階でどうするのかと、そういうことも含めてまだまだ協議をする場面っていうのがあるかと思っております。

具体的にスケジュールが決まってるという部分と決まってない部分もありまして、一概に全て今の時点でこうだということも言えないんですけども、来年度におきましては、そういうデジ田の関係もありますけども、そういうハードの部分あたりについても、少し煮詰まってくるのかなという思いでおります。

**○岡田分科会長** 稲田委員。

**○稲田委員** 医学部さんに関連する情報は、新聞で知るほうが多くて、議会で知る回数が少ないような、私、そういう気がしてるんですけど、今回この事業が立ち上がるに当たっては、市のほうもより深く関わっていかれると思いますので、動きがありましたら、また議会のほうに報告いただきたいと思います。

要は、米子港周辺もかわまちづくりもありますし、県のほうの動きもあったり、それから、米子城跡の整備も市が進めていく、駅からのウォークアブルの流れもあるということで、地理的に医学部の辺りは真ん中辺にあるものですから、ここの動きがまたいろんな意味でいい影響を与えていくものだと思っておりますので、よろしくお願いします。

最後ですが、2ページ上段です。避難行動要支援者個別計画作成推進事業で、これは本会議でも出た話ですし、昨日の予算出ましたので、私がちょっと思うところを聞かせてもらいたいなということでお願いします。

恥ずかしながら、地域振興課の、今、業務が今年度当初組織改正があって、生涯学習課と一緒に共管という言い方がいいのか協業なのかあれですけども、一緒になられたということで1年たったと。当時そのときに防災、安全・安心に係る事業、福祉に係る事業、この事業がもともと福祉であったり、防災のほうの事業が今のこの地域振興課に上がったという言い方がいいか、移ってきたと。もちろん生涯学習課の部分も移っていると、そこを1人の課長さんで回されてるということで、ここに何か狙いがあったと、狙いがあるからそうされたと思うんですけど、この1年やってこられて、どうでしょう、そこの実績とまでは言いませんけど、こういうふうな効果を生み出したんだよという部分があると思えますので、まずはそこからお尋ねしたいと思えます。

**○岡田分科会長** 毛利地域振興課長。

**○毛利地域振興課長** 地域振興課、生涯学習課、課長が兼務をしたというところの効果ということのお問合せでございますけれども、実際に公民館を生涯学習課から地域振興課のほう、市長部局単独管理という形にした部分はございますけれども、生涯学習、特に社会教育の分野におきましては、生涯学習と公民館の両輪で振興を図ってきたというふうに思っております。具体的には、地域に関する様々な課題の取組ですね、子育てでありますとか防災でありますとか、特にコミュニティ・スクールの分野を公民館と、それから公民館を拠点とする地域と、市全体のいわゆる市民講座の形で展開をしてきた、そういうような形で今年度取り組んできたところでございます。

ひとまず以上でございます。

**○岡田分科会長** 稲田委員。

**○稲田委員** 経緯というような説明だったと受け取りますが、要は公民館というフレーズが、今、何回か出てきております。これまで生涯学習課のほうを中心だったのが、今の地域振興課になってるということで、公民館の職員さん複数です。私が聞くからはっきり言いますが、住吉地区に限らずの複数の箇所の公民館の方から伺うには、動きがあるのは分かるけれども、なかなか伝わり度合いがという話が出た。ただ、公民館職員さんが私に言うのではなくて、それは公民館長を通じて地域振興課のほうに言わなきゃならない内容なんですけど、ただ、仄聞するに、要は地域振興課から公民館に対して、防災に関することや、それからフレイル対策、子どもの居場所づくり、要するに安全・安心であったり、高齢者に対する福祉であったり、子どもの政策であったりということで、かなり幅広く要求というか要望があるようなことで、なかなか公民館の中で消化し切れてないんじゃないかというふうには私も思うところなんです。

話をちょっと変えますけど。これまで議会でも、やっぱり公民館に対しては、いろんな要望、要求をしてきた経緯もありますので、今言ったようなことも含めて、この1年間、それから、これから公民館はどういうふうに変わっていくのか、多分変えるために課も整理されたと、組織改善されたと思いますので、今後どうなるかっていうのは、まずこの場でお聞かせいただきたいと思います。いかがでしょうか。

**○岡田分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** 今後、公民館がどうなっていくのかというようなお尋ねだと思いますが、その前に、先ほど言われました防災、フレイル、子育て、この3つについて、じゃあ、今年どのような動きをしていたのかの辺りから少しちょっとお話をさせていただきたいと思いますが、まず防災につきましては、これは全ての公民館ということではなくて、基本的には土砂災害の警戒区域のある、例えば尚徳ですとか県、これを中心にモデル事業を進めておまして、結果としては本日御提案させていただきました条例の制定につながるわけですし、本格的な稼働はまずは来年度から、これも一つの柱としてやっていくわけですが、ここで一つ申し上げたいのは、公民館というのは29ありまして、全てこの取組の仕方が違います。具体的に分かりやすく申し上げれば、災害にしても、土砂災害があるエリアと浸水の災害があるエリア、全くないエリアがあって、そこと同じようなことにはならない。そういうのが分かってきたのも、先ほど課長が申し上げましたけども、いわゆる生涯学習課と地域振興課一緒になって、より地域の皆さん方と意見交換ができるようになった成果だというふうに私は思っております。

フレイルにつきましては、これは、今年度健康対策課のほうで、いわゆるフレイルの、来年度から本格的に稼働しますけども、これも実証的に何か所かのところで、実際に健康対策課の職員が来て、リモートでそういうのをやらせていただいた。

子育てについては、これはまだまだこれからの話でありまして、具体的なものというのは、現実にはいろんな話はあって、一部南部のほうの公民館でそういう議論がありましたけども、まだ具体的な形にはなっていないということでございます。

それで今度、来年の話をさせていただきますと、実は来年度、今まで実は生涯学習課と地域振興課と、それぞれ別だったときには、いわゆる地域の重点課題というのを示し

ずに、結局地域でそれぞれの課題について話ししてくださいということでしたけども、私の答弁でもさせていただきましたが、来年度につきましては、いわゆる先ほど言いました防災とフレイルと子育て、これをやっぱり重点的に、米子市としてまずは取り組みたいので、公民館として協力してくれということをやっています。その協力の仕方については、これは一律ではなくて、先ほどから申し上げてますように、各館で既にかなり進んでいるところもあれば、全く手がついてないところもあって、それこそ千差万別でございますので、その辺りについては、私どもの地域活動支援員が全面的にこれはフォローさせていただくということで、そういう体制を取ろうとしています。

ただ、御指摘いただいて、公民館の職員さんとの、いわゆる職員と共通認識を図る部分においては、一応来年度から本格的な稼働をしますけども、まだまだ足りないところがあるなというふうに私自身も思っています、そのことについては来年度、実はここ何年間、きちんとした研修すらもあんまりできてない状況だったんで、きちんとした研修計画というのをつくって、今、それに向かって準備を進めているところでございます。

最後に、少し長くなって申し訳ないんですけども、どういう公民館を目指すのかということですけども、そういう事業をやりながら、やはり地域の拠点ということの公民館を目指していきたいと、そういうふうに考えているところでございます。

**○岡田分科会長** 稲田委員。

**○稲田委員** 最後です。というようなことを、今、述べていただいたんですが、やっぱり一度、委員会なりに公民館、こういうふうになっていきますよという報告というか、説明をいただく場が欲しいなと思っておりますが、いかがでしょうか。

**○岡田分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 簡潔に申し上げたいと思いますが、以前から議会でも御指摘といいたし、お話があったとおりでありますし、恐らく認識はしてるんだと思いますが、分かりやすく言うと、やはりこれから先、地域のコミュニティーの力というのをもう一回取り戻す必要があるだろうと。昔のような非常に強い絆までは難しいかもしれませんが、緩やかなものも含めて、あるいは強い絆がまだあるところもありますので、さらにそれが続くよということでもあります、いわゆる地域のコミュニティーの真ん中にあるいわゆるコミュニティーセンターは、様々な運営形式もありましようけども、そういったものの役割をやはり公民館に果たしていただく、これが我々のゴールイメージであります。

当然、生涯学習という分野で、これまでもいわゆる地域のセンター的な機能を果たしておられたわけですし、さっき八幡部長も申し上げましたとおり、地域の実情の違いもあって、相当やり方とか、やってる内容とか、程度とか、こういったものがかなり違うというのは、これは29公民館の実態であります。それを金太郎あめのようにそろえようという気はありません。なぜかという、そんなものを押しつけてもうまくいくはずがないわけでありまして、やはり地域のコミュニティーというものをもう一回見直そうということであればあるほど、やはりそれぞれの地域で、じゃあ、これから先、この地域の地域経営っていうとちょっと大げさですけど、この地域をどんなふうにしていくんだということを、やはり住民の皆さんがしっかり話し合ってくださいことからは始める必要があると。その場として、あるいはそれをつなぐ、センターとして公民館があるということだと思っています。

ただ、なかなか言うはやすし行うは難しでありまして、これは地域の方々もそうありますが、公民館自体もなかなか変化をしなければならぬということが分かっている、そのプロセスも含めたところで少しやや立ち止まっているというのが今の実情だと思っています。その辺の考え方を、やはり議会と改めて共有するという必要だと思っておりますので、少し整理をしたい、整理をしようという話を実はしてまして、庁内のプロジェクトで1回整理をしようということをしております。それをある意味、結果といたしましうかというようなものをできるだけまた議会にもお示ししたいとは思いますが、一つは、やはり生涯学習というものがずっと今でも不変の価値があるんですけども、やはりそのプレイヤーがずっと高齢化してしまって、要は公民館に来る人ってという話があります。そこから脱したいという思い、やはり子どもの声も、もちろんお年寄りもそうなんですけど、聞こえる公民館だといよいよねっていう、そういう公民館の姿にどうやって変えていくのかということ、これを議会の皆さんとも議論しながら、もちろん一番大事なのは各地域地域の御議論ですし、地域地域の核になるプレイヤーをどうやって育てていくのか、つかまえていくのかということをやっけていかなければいけないわけなんですけども、そういうことができる公民館にしたいと、このように思ってますけど、ただ、繰り返しになりますけど、それは市の側からこうしてくださいという絵を示して押しつけるものではないというふうに思っているということだけは御理解いただきたいと思っております。以上です。

**○岡田分科会長** そのほか。

相野都市創造課長。

**○相野都市創造課長** すみません、先ほど朝日町の公園のトイレの費用ですけれども、約2,600万円という御説明をさせていただいたんですけれども、トイレについては、トイレそのものの建物の費用と電気に係る費用、機械に係る費用で、その3つを足しますと、約3,300万、先ほどその中で建物と電気の費用約2,600万円と言ったんですけど、それにさらに設備のほうがかかりますので、その価格になると、今の概算ですとそういうふうになりますということで、おわびして訂正させていただきます。

**○岡田分科会長** そのほか。

松田委員。

**○松田委員** 私は、3事業といいますか大きく3項目ですけど、まず、3ページの淀江保育園跡地活用事業なんですけど、解体ということで1億1,000万ということなんですけど、最終的には芝生化という流れということなんですけど、こういう出口に至った経緯とか芝生化ということなんで、予算がまたさらに要すると思うんですけど、どの程度見込んでいいのか伺っていいでしょうか。

**○岡田分科会長** 山浦総合政策部次長。

**○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 保育園跡地活性化事業のほうで、予算計上させていただいております。その件について、お問合せということで答えさせていただきます。

今回敷地が7,200平米ある場所、大体サッカーコート1面フルに取れるような面積ですけれども、そこにある園舎のほう2棟ございます。保育園と幼稚園を撤去するのに費用を計上、今回させていただいておるということになります。工事の実施につきましては来年度、令和5年度単年度事業として実施をさせていただきます、その後に芝生化というのを予定させていただいております。

地元の協議を既にこの事業を立ち上げる前から行っておりまして、その中で、地元のほうもこの地域をどのように活用していくかということを検討する組織を立ち上げておられます。そこを窓口としまして、私どものほうがお話をさせていただいて進めてさせていただいてるという経過でございます。

芝生化につきましても、地元のほうが自分たちの手で植えた芝生、それを自分たちで管理していきたいという御意向を伺っておりますので、ポット苗のほうを使った植栽、これは実際に、伯耆古代の丘公園等でも実施させていただきます手法を用いて植栽をさせていただきたいというふうに考えております。大体費用につきましては、1ポットが大体60円から70円ぐらいのポットということになりまして、1平方メートル当たり、時期にもよりますが、5ポットから大体8ポットぐらいを植える格好になります。これをトータルで8,000平米全部に植えるということではございませんけれども、その辺りの場所、現在ある芝生との協調を図ってしていきたいと。大体概算費用としましては、安ければ300万円ぐらいからで、高くて1,000万ぐらいで収まればなというふうに考えておるところでございます。以上になります。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 そうすると、芝生化のほうで最低300万円ぐらいからで、今後の管理は地域の方々がされるということで、大きな今後、維持管理費が継続的に発生するという感じではないということですね。

○岡田分科会長 山浦総合政策部次長。

○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長 芝生の管理につきましては、道具を御用意させていただければなというところもございますので、この辺りはいろんな補助金制度とかそういうものを活用して、市がどれだけ関わっていけるかということも考えておりますし、また芝生、草の管理になりますので除草費用であったりとか、あと逆に育成するための肥料であったりとか水であったりとかっていうのは、そういったものも今後話していかなくちゃいけないなというふうに考えております。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 分かりました。次に、4ページの生活路線運行対策事業なんですけれども、前年度の予算に比べて3,100万プラスということですけども、その増減の要因を教えてください。

○岡田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 生活路線運行対策事業ということで、この増額の要因ですけども、コロナ禍で利用者が大きく減っていることが主な要因だということで、計算しております。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 コロナも今後もうウィズコロナというか、変わっていくとは思いますが、前年度に比べて3,100万プラスで、この維持のための補助金というのが年々大きくなっていくという印象なんですけども、行政側としてどこまで吸収するというか、やっぱりこの増加していくっていうのは避けるべきだとは思いますが、その辺り、どこまでがリミットというか吸収できる、今の状態のままでいいというお考えなのか、仕方ないと思っておられるのかどうかっていうのをちょっと確認させていただいていいですか。

○岡田分科会長 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** この補助金のリミットというところがございますけども、なかなかちょっとどこがリミットっていうところが現時点で数字は持ち合わせておりませんが、このままでいいということは当然思っておりませんが、この後報告させていただきますけど、地域公共交通計画を今年度策定いたします。今後の方針としては、路線再編に交通事業者さんと一緒になって取り組んでいきますので、路線再編してうまくいけば、補助金の額は徐々に減らしていけるんじゃないかなということで、そういう方向性で考えております。

**○岡田分科会長** 松田委員。

**○松田委員** 増加はよくはないということだと思うんですけど、交通事業者との関係性とか、やっぱり路線も維持してもらわないといけないというのも分かるんですけども、やはり補助をある程度、これだけの金額をしてるということであれば、しっかり交渉とか、事業者さんのほうにも対等なとか、ある程度対等な立場から意見を言い合って、この補助額というのもどんどん無尽蔵に増えていくっていうのはやっぱりよくないと思いますんで、その辺りしっかりしていただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

**○岡田分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** 補助金の額でございますけども、これが当然、どんどんどんどん無尽蔵に増えてはいけないと、これは先ほど交通政策課長が申し上げたとおりでございます。ただ、この難しいところは、やっぱり例えば事業者と交渉するとかという話ではなくて、これは実績ベースです。つまり乗らなければ補助金が増える、こういう仕組みなんです。人が乗らなければその相違、補助金は増えてしまう。その補助金をなくそうと思ったら、路線をやめるしかない、簡単にいえばそういう構図なんです。それで本当にいいんですかということ、実は今、この沿線の自治会の皆さんに対しても、米子市がいろいろ利用を頑張りますとか云々じゃなくて、実際に乗ってもらわんとなんなりしますわぐらいのことを、実は正直言って来年度から皆さんに説明をしようかと思っております。

それと、ぜひこれはその沿線だけの話じゃなくて、私、以前にも皆さん方にもお訴えしました。やっぱり乗っていただかないとこれなくなります。慈善事業者じゃありませんので、だからそこは、これは全市民の皆さん方に訴えたいというふうに思ってますし、ただ、その仕掛けといたしまして、歩いて楽しいまちづくりというのを全面的に私どもが出して、やっぱり公共交通がなくなってもいいんですかというのを、歩いて楽しいまちづくりの中で、今、実際に皆さん方に訴えたいというのが本音でございます。

ですから、これについては、様々なアイデアを私どもも考えておりますけども、ぜひ御協力をお願いできたらと思います。よろしくお願いたします。

**○岡田分科会長** 松田委員。

**○松田委員** 分かります。ただ、それで結局そうすると、例えばこの歩いて楽しいまちづくりの一つのゴールとすれば、結果的に乗りたいバス路線とか、乗りたい場所が増えてバスに乗って、それで補助金下がる、補助額下がるっていうのも一つのゴールという考えなんですか、いかがでしょうか。

**○岡田分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** それも一つのゴールですし、最終的には、今回の計画にもお示ししておりますけども、いわゆるなかなかそれでも乗っていただけない路線については、バス

路線の抜本の見直し等を検討するとか、あと、いわゆる地域のコミュニティーバスを走らせるとかそういう様々な施策について、今後じっくりと検討させていただくということをございます。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 分かりました。最後に、まちなかウォークブル推進事業のところ、54ページのところなんですが、やはり先ほどトイレの話もありましたけれども、大きな予算をここのウォークブル事業については来年度かけていくということで、やはりそれなりの成果というのが必要になってくるとは思うんですが、改めて歩行者優先の歩行空間整備というところで、もう少しちょっとイメージが湧くような絵がなければ、説明をいただけないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

○岡田分科会長 相野都市創造課長。

○相野都市創造課長 これから進めます歩いて楽しいまちづくり、その中での歩行者優先の空間の具体的なイメージというようなお尋ねですけれども、今年度、駅の南側の米子駅目久美町線という路線の測量設計のほう、かかっております。現在の道路が歩道が両側にあって、車道が片側で1車線ずつの2車線あると。今、この設計をしてるところで、歩行者のための歩道の幅員をより広く、車道の幅を今よりも狭く、歩行空間になるべく自転車が入らないようにということで、車道の路肩のほうに自転車は通っていただくと。そうすることによって、今よりも歩行者の方が安心して安全に行き交うことができるというような構造にしようということで、今検討してるところです。以上です。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 車道が狭くなるという形なんですかね、先ほどの説明だと。そういうところも出てくるってということですか。

○岡田分科会長 相野都市創造課長。

○相野都市創造課長 現在の道路の幅の状況とかにもよりますけれども、その路線については今の車道の幅を狭くしてます。その分を歩道を広げるということで、幅員を使っております。以上です。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 駅の南側の道の話ですよ。そうすると、歩行者の方からとればいいんですけど、車からすると、道が狭くなるってということですよ。通って行って、だけ南側の入り口というか、出口というかの活用もしてというところでイメージされてるっていいんですかね。ちょっと説明が足りないかもしれませんけれど。

○岡田分科会長 相野都市創造課長。

○相野都市創造課長 南側の今の道路の構造等の考え方ですけれども、基本的に南側の新しい自由通路がいなロードができて、南へのアクセスができるということで、一定程度車の寄りつきとか公共交通、こういったものの通行は確保はするんですけれども、基本的な考えとして、車中心の社会から歩行者優先の構造につくり替えるという考えの下でやっておりますので、例えばですけども、今まで送迎について自家用車でしていただいていた方が公共交通を利用していただくとか、近くまで来て歩いて駅まで来ていただくと、そういうような考え方いかに変えていただくかというようなことを考えながら、歩行者中心のつくりにするというふうに考えております。以上です。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 ちょっと私のイメージだと車で駐車場ができるんで、あっちからの送迎も増えて、北側から送迎して降ろしにくかったけど、南側で使えるようになったし駐車場もできるんで、そこで車の量っていうのも増えるというイメージだったんですけども、米子市のイメージだとすれば、歩行者の方が最終的には増えていくんだというイメージなんです、それとは違いますか。

○岡田分科会長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 今、松田委員が言われたように、駅前の北広場と南広場については、基本的にはそういう考え方で整備をさせていただいてると。ただ、先ほど、私どもの課長が申し上げたのは、このウォークアブル全体の基本的なコンセプトとしては、基本的には公共交通機関を使って、そして歩いて、いろいろ移動しましょうというコンセプトを申し上げたわけでごさいます、それぞれの道路によって、例えば先ほどの道路は少し車の幅を狭くしたりというようなこともありますけども、要はそういうコンセプトの下で、例えば駅ですと基本的に車で来ていただくのではなくて、これだけ米子市は駅に向かっていろんなバスがあるわけですから、駅に行くのもできたらちょっと公共交通機関を使って行ってくださいよとかそういうメッセージですね。これは例えば1年、2年で何とかなるというもんでなくて、将来的なまちづくりを考えたときに、やっぱり米子市としては、そういう歩行者に優しいまちをこれからつくっていきますよというのを、いわゆる来年度から実質、要はがいなロードの開通を契機に第一歩を踏み出すわけです、そのところはひとつ御理解をさせていただきたいと思えます。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 いいですか。そうすると、駅周辺もですし、角盤町のほうも歩行者優先の工事を進めるっていう内容なんです。

○岡田分科会長 相野都市創造課長。

○相野都市創造課長 角盤町周辺において取り組みます道路の整備についても、同じように車道よりも歩行者、こういった空間をいかに広く安全にするかというコンセプトで考えておるところです。以上です。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 分かりました。角盤町の、それこそ先ほど朝日公園でありましたけども、やっぱりトイレの費用というのかなり大きいですし、私の認識だと、先ほどもありましたけどちょっと奥まって、人通りは少ないようなイメージなんです。それで、さらに遊具を設置されて、どなたが利用するイメージが一番コンセプトとしては強いんでしょうか。

○岡田分科会長 相野都市創造課長。

○相野都市創造課長 今の朝日公園のこういった方が使われるかというコンセプトなんですけれども、当初は、やはりああいう地区にありますから、昼間だけではなくて夜でも公園を使っただけのような、そういったものになるということも考える必要があるかなというふうには思ってたんですけども、今、来年度工事に向けまして、担当課のほうで地元のほうで説明会等でいろいろ御意見を伺ってる中で、やはり小さいお子さんが周辺にいらして、昼間も遊具で遊んでるということで、ぜひとも遊具は撤去するのではなくて、新しい、更新になるかもしれないですけど、設置してほしいというようなことをお話を伺

ってると聞いております。当然、地元自治会でのいろいろな取組で公園を使ってるということですので、なかなか市のほうが考えているイメージとすり合わせるのが最初難しいのかなと思ってたんですけども、そういった地元の方のいろんな御意見をいただきながら、どこでどういった方に使っていただくというのを、例えば公園の中をゾーン分けしながらとか、そういったようなこととかも考えられるかと思っておりますので、その辺り、今後も地元の方とお話ししていきながら、よりいい公園にしていきたいなというふうに考えております。以上です。

**○岡田分科会長** 松田委員。

**○松田委員** せっかくですので、多くの方が使われるように、ちょっと私のイメージだと、やっぱり近隣のお店も撤退しているようなゾーンだという認識なんですけれども、夜なんかも歩くのもちょっとどうかなというところの、私としてはそういうイメージなので、工事するからには当然利用していただきたいですけど、トイレのほうはやっぱり3,000万ぐらいですか、ありましたけど、それって相場的にそれぐらいやっぱりかかるんですか。ちょっと私と市民の感覚からすると、家が1棟建つぐらいの金額なんで、大きい金額だと思うんですよ。その辺り、もう1回ちょっと説明、理解したいんで。

**○岡田分科会長** 相野都市創造課長。

**○相野都市創造課長** トイレの一般的な整備費ということでお答えさせていただきますけれども、私自身も、直感的にちょっと高いのかなというイメージはするんですけども、近年、湊山の公園とかでも同じようにトイレを整備させていただいたんですけども、やはり一定程度これぐらいの金額はどうもかかると、今、バリアフリー、ユニバーサルデザインの関係で、設置する基準とか変わってきて、便器ですとかそういったものをトータル的にやっていきますと、やはり3,000万ぐらいの価格になるのがほかの公園でも取り組んでるような状況になっております。以上です。

**○岡田分科会長** 松田委員。

**○松田委員** かかるということなので、なかなか私の認識とはちょっと離れてるんですけども、また別の質問します。

角盤町の周辺地区のところで、道路空間利活用実証実験というのが1,000万円、予算が上がっておりますけれども、これは、具体的にどのような実証実験をされるのでしょうか。

**○岡田分科会長** 赤井都市創造課長補佐。

**○赤井都市創造課長補佐兼都市政策担当課長補佐** 角盤町エリアでの実証実験の内容についてですけども、今、角盤町周辺におきまして、商店街振興組合さんを中心としてまちづくりを取り組んでおられるところがございます。その中で、米子市、官民連携を取りまして、よりにぎわい創出につながるような道路空間整備であったり、あるいはえる・もーのアーケードの改修であったり、そういうものを進めている中で、今、思い描いておられます道路空間、こちらのほうで、例えば憩いなり集えるようなベンチを設置したり、あるいは周辺に飲食店がございます。そういったところの前にテーブルを出すとか、そういうことによって人流がどのように変わってくるのか、どのようなニーズが要るのか、そういったところを把握するような実証実験を予定しておるところでございます。

**○岡田分科会長** 松田委員。

○**松田委員** 実証実験ということなんで、実験の結果というのが出てくるわけですかね。

○**岡田分科会長** 赤井都市創造課長補佐。

○**赤井都市創造課長補佐兼都市政策担当課長補佐** すみません。実験、最終的には報告という形で何かしらの数字、あるいは結果のほうを御報告させていただきたいというふうに思っております。

○**岡田分科会長** 松田委員。

○**松田委員** すみません、長くなって、もう少し。歩いて楽しいまちづくりのウォークブル推進事業で令和5年度に事業を実施する箇所が示してあって、さらにこのウォークブル推進路線っていうのが、まだこの令和5年度以降も予定されてるという認識なんですか。

○**岡田分科会長** 赤井都市創造課長補佐。

○**赤井都市創造課長補佐兼都市政策担当課長補佐** 歩いて楽しいまちづくりの中でウォークブル路線、新商都米子のまちづくりということで、2022のほうでもお示しさせていただいておりますけども、エリア全体でいろんな路線をウォークブル推進路線としております。その中で、令和5年度を着手できるもの、あるいはこれから地元の方、周辺の方と調整して、進めていきたいというような路線については、ウォークブルの推進路線ということで上げさせていただいております。

○**岡田分科会長** 松田委員。

○**松田委員** そうすると、令和5年度が終わって令和6年度以降で、大体どの程度予算をかける予定なんですか、分かれば。

○**岡田分科会長** 赤井都市創造課長補佐。

○**赤井都市創造課長補佐兼都市政策担当課長補佐** 全体の予算額ですけども、例えば米子駅周辺におきましては7億4,600万円トータルを今、予定しております。また、角盤町エリアにつきましては、9億300万円をトータルで見込んでおるところでございます。以上です。

○**岡田分科会長** 松田委員。

○**松田委員** 確認ですけど、駅周辺は全体で7億4,600万になるっていうことですか。それで、角盤町は全体で9億300万という、令和5年度とそれ以降の工事全体でその金額っていうことなんですか。

○**岡田分科会長** 赤井都市創造課長補佐。

○**赤井都市創造課長補佐兼都市政策担当課長補佐** 先ほど言った数字がこれを整備いたします都市再生整備計画、こちらのほうでの全体事業費ということになります。

○**岡田分科会長** 八幡総合政策部長。

○**八幡総合政策部長** いずれにいたしましても、先ほど稲田委員からもありました、どの場所で、どういうところが、いつまでというものは、一つ分かりやすい形で、議会のほうにきちんと資料のほうを提供させていただきたいと思います。

実は、2022にある程度のごことは、2022に既にお示ししましたけども、ある程度のごことが書いてあるんですけども、それをもっと分かりやすい形で提供させていただきたいと思います。

○**岡田分科会長** 松田委員。

**○松田委員** すみません、長くなって。そうすると、その分かるような形で改めて全体で幾らなんだとか、どういう構想なんでっていうのをもう1回やっぱり、大きい予算になるのでこちらのほうもしっかり理解する必要があると思います。

最後にですけど、昨日また予算総括でちょっと伺ったんですけども、歩行者の交通量なんですけど、現状維持が計画の中では目標だと。新店舗の出店については、1店舗増やすところが国への計画ではそういうことだったんですけども、米子市として、それではいいとは思ってられないと思うんですけども、どうなんでしょうか。その辺りが私としてはこれだけの予算をかけるので、歩行者の交通量の維持ではなくて、今よりもこれぐらい増やすんだとか、その辺りの高いゴールがあるのでこれだけの事業をしてると思うんですけど、その辺りを教えていただけませんかでしょうか。

**○岡田分科会長** 相野都市創造課長。

**○相野都市創造課長** 今後事業を進めるに当たっての目標値ですとか、そういったものの考え方ですけども、やはり本来は事業をするからには上に向かうような数値目標っていうのを達成したいと思うんですけども、歩行者通行量につきましては、毎年地点を決めて計測してる関係で、コロナの影響もあるんですけども、年々やはり減ってきてるという状況です。まずはそこを食い止める。事業をすることによって、以前の数値まで戻すには若干時間かかると思うんですけども、まずは戻すと。将来的には、やはり人口減少の中ですけども、公共交通を使っただけながら歩いて楽しいまちづくりを進めるということは、それだけ歩行者の方が増えると、増えてほしいという思いはありますので、個人的な思いはありますけれども、やはりプラスの数値、こういったものが出るように事業を進めるべき、進めていきたいなというふうには思っているところです。ただ、実際には、形としては、現状をやはり維持していくというところを現実的には考えてるところです。以上です。

**○岡田分科会長** 松田委員。

**○松田委員** 先ほど全体の計画というか、今後の令和5年度以降のところももう1回示していただけるということでしたので、やはり私としては、現状維持というのは弱いと思いますので、これだけの事業をするに、この事業、どこまでお金をかけるかっていうところももう考えるべきだと思いますけれども、その辺りで交通量をもう少し高いレベルでね、やっぱりこれ、お金をかけるんだしたら、人が歩く量がかなり増えるようなやっぱりイメージを目指すべきだと思いますので、そういう検討が必要だと思います。以上です。

**○岡田分科会長** そのほか。

森田委員。

**○森田委員** 何点か確認させてください。

事業別予算説明書の23ページにあります圏域の市長会のところで、645万8,000円の増額となっているんですけども、増額の内容を教えてくださいたいと思います。

**○岡田分科会長** 宇津宮総合政策課広域行政推進室長。

**○宇津宮総合政策課広域行政推進室長** 中海・宍道湖・大山圏域市長会の事業の内容でございますが、産業振興、観光振興、それから環境の充実、連携と協働、それぞれ4つの事業の合計金額となっております。

**○岡田分科会長** それが増額になった理由。

○宇津宮総合政策課広域行政推進室長 はい、増額理由でございます。

○岡田分科会長 誰か答弁できませんか。

八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 すみません、ちょっと市長会の話で、私どものその負担金の部分だと思いますけれども、そこの部分で具体的にどこがってというのが、明らかに何か新しい事業をしたとかそういうことではなくて、従来の、先ほど担当のほうの説明しました基本的に観光とか産業とかそういう部分が増えているのもありますし、若干来年度につきましては、いわゆる議連、できたばかりであれですけども、要はそういうところで、いわゆる国の要望活動、いわゆる中海・大山・宍道湖、圏域で言いますと八の字ルートのそういう要望活動等の予算などなど、そういうのを合わせて若干負担金が増えたということで御理解をいただきたいと思います。

○岡田分科会長 森田委員。

○森田委員 分かりました。何か若干というには枠が大きいかなと思うんですけども、承知いたしました。

続きまして、29ページ、地域活動支援員配置事業に関してなんですけれども、こちらも増額されてるということで、配置人数が増えたことによって増額しているというような認識でよろしかったでしょうか。

○岡田分科会長 毛利地域振興課長。

○毛利地域振興課長 地域活動支援員の配置につきましては、現在、市を4つのエリアに分けた4名で対応しているところなんですけど、その4つのうち1つの南部地域っていうのが非常に多く公民館ございまして、そちらのほうにもう1名プラスというふうに思っております。あと、地域課題として子どもの支援、子育て支援という形のところにもう1名を増やしていくような今考えで、2名の増員を今計画しております。以上です。

○岡田分科会長 森田委員。

○森田委員 ありがとうございます。2名の増員で1,000万強の増額で、何か人件費等々を考えたらまあそんなもんのかなと思うので承知いたしました。

あともう1点、最後に、関係人口拡大事業に関してなんですけれども、ファンクラブの運営は分かります。県人会及び同窓会への出席というのが、誰が出席して、出席することでどのように関係人口が拡大するのかっていうのがちょっとイメージづかなかったので、説明していただければなと思います。

○岡田分科会長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 同窓会等、例えばどういう同窓会に出るのかということですけども、東京での鳥取県人会ですとか、例えばですけど、最近ちょっとコロナでやってないんですけども、各高校のそれぞれの県人会、東京にございますので、そこに出席をさせていただいたり。それで出席者については、市長のこともありますし、副市長さんに行っていたくこともありますし、各部長が行くこともございます。それがどういう形で関係人口につながるかということでございますが、やはりその場に私どもが出ますと、その出席者の方からいろんな懐かしさということでお話をいただきます。そして、その際に様々な名刺交換をさせていただきますし、今現在でいきますと、このヨネギーズバッジですよ、これをぜひ登録いただいたらこういうバッジがつけれますよというようなことで、そうい

うような御登録をいただくことによって関係人口を増やさせていただいていると、そういうことでございます。

○岡田分科会長 いいですか。

そのほか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 ないようですので以上で総合政策部所管の審査を終わります。

八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 先ほど市長会の分で何が増えたかということで、私もちょっと答弁をあれしましたけども、結局500万増えた理由というのがですね、地方創生の推進交付金、インバウンドの関係でいいかいな…。

○岡田分科会長 堀口総合政策部次長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 令和4年度は中海市長会の会長を米子市長がやっております。その関係で5市全体の事業なんですけども、国に対して地方創生交付金というのが申請できますので、それを米子市が代表して交付申請しております。その分米子市が見た目が増えておりますけども、あとで各4市のほうで処理しますので、単純に500万増えたというわけではございません。

○岡田分科会長 よろしいですか。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午後1時58分 休憩**

**午後2時37分 再開**

○岡田分科会長 それでは、予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

予算分科会会長報告のための意見の取りまとめを行います。御意見がありましたら発言をお願いします。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 ないですか。

それでは、特になかった旨、報告させていただきます。いいですね。

以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

**午後2時38分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 岡田啓介